

国際政治の本質を見極められる 冷静な国際人を養成する

世界の至るところで、グローバリゼーション（世界標準の伝播）とジオポリティクス（個別特殊性の発揮）のせめぎあいや対立が見られます。新しい時代には、これに見合う問題解決とコミュニケーションの能力が求められます。わが国にとって、国際政治の諸分野における専門性に裏打ちされた構想力・交渉力・実行力を持つ人材の育成は緊急課題です。本研究科では、こうした時代の要請に応える、国際政治、開発協力、地球環境、平和構築、人間の安全保障、アジアのガバナンス（政治と外交）等のグローバル・ガバナンスおよびアジア国際政治分野の研究・教育実績を有する専任教員を有しています。これまでの蓄積をさらに発展させながら、「国際政治学専攻」(Graduate School of Global and Asian Politics:G-GAP)においては、国際的に通用する高度専門職業人や研究者の養成を目指します。

アドミッション・ポリシー

1. 国際政治に関する専門知識や英語力を身につけ、国際的に通用する高度専門職業人、あるいは国際政治を専門とする研究者を目指す強い意欲が具体的に認められる人材を求める。
2. 大学学部レベルの政治学ないし関連諸学についての既修・未修は問わない。大学における学部教育の未修者であっても、社会的経験と問題意識ないし学問的意欲において大学卒と同等かそれ以上の学力が認められる人材を求める。
3. 上記の条件を満たしているかどうかを入学試験により判定する。一般入試においては、専門科目と外国語の筆記試験、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により、外国人入試においては、専門科目と日本語の筆記試験、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により、社会人入試においては、研究計画等についての口述試験、そして提出書類の審査により判定を行う。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
浅見 靖仁 教授	比較政治学、開発学、東南アジア研究	東南アジアの政治経済、開発研究、アジア諸国の社会福祉制度	国際地域研究（東南アジア）(1)/(2)
権 鎬淵 教授	平和軍事研究、政軍関係	日本の防衛政策、日本の対外政策、東北アジアの安全保障問題	国際地域研究（朝鮮半島）(1)/(2)
坂根 徹 教授	国際公共政策、国連研究、行政学等	国際公共政策、国連システムの調達行政、国際行政等	国際公共政策研究 1/2、国際公共調達研究 1/2
高橋 和宏 教授	日本外交史、経済外交論、国際関係史	冷戦期の日米関係、国際経済秩序をめぐる日本外交	日本政治外交研究 1/2
菱田 雅晴 教授	政治社会学、現代中国論	中国研究（国家・社会論、中南海研究、廉政研究）	対外政策研究（中国）(1)/(2)、国際地域研究（中国）(1)/(2)
福田 円 教授	国際政治、中国外交、中台関係	中国と台湾の関係史および現状分析、中国外交と国際環境の相互作用	アジア国際政治史、アジア統合論、グローバル政治経済特別セミナー
本多 美樹 教授	国際関係論、国際機構論、伝統的・非伝統的安全保障研究、国連研究	国際社会による平和のための協働と確執、アジア太平洋地域の安全保障	非伝統的安全保障研究、地球規模課題政策研究、総合講座・外交総合講座
溝口 修平 教授	比較政治学、旧ソ連地域研究	旧ソ連諸国の政治体制、現代ロシア政治外交	ロシア政治外交研究 1/2
宮下 雄一郎 教授	国際関係論、国際関係史、戦争史	フランス外交史、日仏関係史、ヨーロッパ統合論	国際地域研究（ヨーロッパ）(1)/(2)
森 聡 教授	国際政治、アメリカ外交	アメリカのアジア戦略、東アジアにおける安全保障、国際システムにおける「平和的変更」の可能性と限界	国際政治理論、アメリカ外交史、戦略と政策、アメリカの対外政策
弓削 昭子 教授	国連の開発活動と平和構築	国連システムにおける開発活動と平和構築	国連・平和構築研究 1（国連組織）、国連・平和構築研究 2（平和構築）、持続可能な開発のための教育（ESD）、開発援助運営論：JICA 講座

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

研究室紹介

宮下 雄一郎 教授



ヨーロッパ国際関係史
—「戦争と平和」をめぐる政治

大国間の権力政治と
国際秩序の変動

国際関係論（国際政治学）といっても、その内実は様々な学問分野の「寄り合い所帯」であり、研究を遂行するにあたっての方法論も多岐にわたる。政治学、歴史学、哲学、そして経済学はもちろんのこと、知識人などを研究対象とする場合には文学などの素養も求められる。研究テーマを設定し、それに取り組むための方法論を見つけるには、相応の知見が求められる。本研究室では、歴史的なアプローチに基づき、ヨーロッパの国際関係に関する様々な問題を扱う。歴史上の出来事から「政治」を抽出し、それを分析することが目的である。外交文書などの一次史料を渉猟し、そこから戦争と平和をめぐる問題を探るための材料を抽出しなければならない。

学生・修了生の声

松永 和成

修士課程 2015年度修了 / 株式会社日本リサーチセンター



海外市場調査員として世界中を
飛び回りたい。
海外で通用するリサーチャーに
なることを目標に
国際政治学を専攻

専攻の魅力

教授との距離が近く、論文の指導が密に行われるところが魅力だと思う。英語で行われる講義はディスカッション含め実践的であり、将来グローバルに働くうえで力になる。海外特別奨学金制度を利用し1年間英国の大学院で学ぶ貴重な機会を頂いた。

将来の目標

現在海外市場調査をアシスタントの立場で担当している。今後、海外市場調査を主担当として成功に導くことが目先の目標である。将来は新興国諸国を対象に新規案件を増やし、世界中を飛び回りたい。ゆくゆくは会社ではなく、自分の名前で仕事を任せられるようリサーチャーになりたい。

研究テーマ

グローバルヘルスガバナンスに関する一考察
—ビルゲイツ財団の事業活動分析

修士課程

●基礎理論科目
国際政治理論(2)
アメリカ外交史(2)
政治理論研究1/2(各2)
国際政治史研究1/2(各2)
アジア国際政治史(2)
国際公共政策研究1/2(各2)
国際協力政策研究1/2(各2)
非伝統的安全保障研究(2)

●国際政治専門英語科目
Academic Reading(初級)(2)
Academic Reading(上級)(2)
Thesis Writing(初級)(2)
Thesis Writing(上級)(2)
Presentation & Debate(初級)(2)
Presentation & Debate(上級)(2)

●グローバル・イシュー科目
国連・平和構築研究1(国連組織)(2)
国連・平和構築研究2(平和構築)(2)
国際公共調達研究1/2(各2)
地球環境政治論(2)
持続可能な開発のための教育(ESD)(2)
市民社会組織ネットワーク論(2)
グローバル・メディア研究(2)
国際金融政策論(2)
国際食糧資源エネルギー政策(2)
グローバル・ビジネス研究(2)
プロジェクト評価手法(2)
国際開発プロジェクト・マネジメント手法(2)
地球規模課題政策研究(2)

●アジア国際政治科目
アジア比較政治(2)
アジア統合論(2)
アジア平和軍事研究(2)
戦略と政策(2)
アメリカの対外政策(2)
対外政策研究(中国)(1)/(2)(各2)
対外政策研究(朝鮮半島)(1)/(2)(各2)
ロシア政治外交研究1/2(各2)
国際地域研究(中国)(1)/(2)(各2)
国際地域研究(朝鮮半島)(1)/(2)(各2)
国際地域研究(ロシア・中央アジア)(1)/(2)(各2)
国際地域研究(東南アジア)(1)/(2)(各2)
国際地域研究(ヨーロッパ)(1)/(2)(各2)
日本政治外交研究1/2(各2)

●実践講座科目
グローバル政治経済特別セミナー(2)
開発援助運営論：JICA 講座(2)
国際機関講座(2)
総合講座・外交総合講座(2)
総合講座・国際協力講座(2)

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数